

 **Kashimura**

**KW-48** 自動開閉式 ワイヤレス充電ホルダー  
FMトランスミッター付 吸盤取り付け

## 取扱説明書

取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けで使用ください。



### 同梱品

- 本体
- Type-Cコネクタ電源ケーブル
- 取付用プレート

## ご注意

●本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面には取付けできません。●取付けには必ず付属の取付用プレートを使用してください。取付箇所やその周辺は、取付跡が残ったり、接着剤成分やゲル成分が付着する可能性があります。●本製品の吸盤は、硬い樹脂製以外の材質（やわらかいウレタン入り・レザー・スウェード・布地等）のダッシュボードには、破損・変色の恐れがありますので取り付けないでください。●曲面がきつい場所、大きな凹凸がある場所、本革、合成皮革、起毛地や布地面、表皮が柔らかいダッシュボードには貼り付けしないでください。ダッシュボードの取り付け面が破損したり、取付跡等が残ったりするおそれがあります。●水平面に取付用プレート・吸盤の全面を取付けてください。また、ご使用前には本製品がしっかり固定されていることを確認ください。●端末（スマートフォン）がワイヤレス充電（Qi）に非対応の場合、またはスマートフォンケースが極端に厚い場合、または手帳型ケースを折り返した状態では、充電・自動ホールドができない場合があります。●本製品にワイヤレス充電（Qi）対応の端末以外を置かないでください。●磁気カードや磁気記録メディア・精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。●端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、本製品に置かないでください。●端末を置く位置によっては適切な充電ができない場合があります。●充電中に通信品質やワンセグ受信状態などが悪くなる場合があります。●テレビやラジオなどに雑音が入る場合は離れた場所でお使いください。●ワイヤレス充電器同士を近づけないでください。端末を検出できず充電できない場合があります。●端末・ケーブル・USB 電源の接続端子部の変形や、導通性の異物（金属片・鉛筆の芯・ピン・砂など）または液体（汗・化粧水・飲料水等）が付着した状態でのご使用は、端子間が短絡（ショート）し発熱や焦げの原因となり大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。また異変があった場合はご使用をおやめください。●端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加える等、端子への負荷はかけないでください。●付属の電源ケーブルは本製品以外では使用しないでください。●お子様の手の届かないところでご使用、保管してください。●本製品の誤った取付け、または分解や改造してのご使用等による事故・故障・破損等の損害につきましては当社では一切その責任を負いかねます。●本製品を使用中、異臭、変形等の異常が起きた場合は、製品の使用を直ちにおやめください。●使用にあたっては周囲温度（使用環境温度）が5～35℃の範囲でのご使用ください。●本製品を使用中に万一機器の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任・保証は負いかねます。予めバックアップをお取りになってからのご使用をお勧めします。●植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与える恐れがありますので、本製品のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。

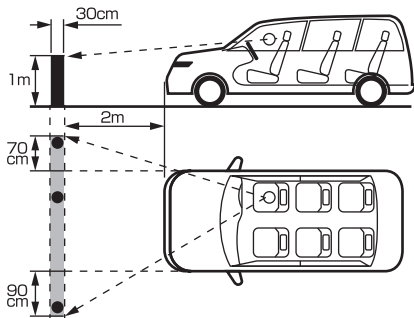
## 取付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

### 前方視界基準

<基準概要>

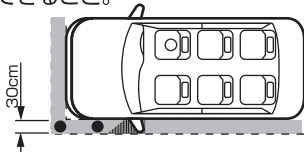
自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



### 直前直左視界基準

<基準概要>

自動車の前面及び左側面（左ハンドル車にあっては右側面）に接する高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



■ : 運転視界基準エリア

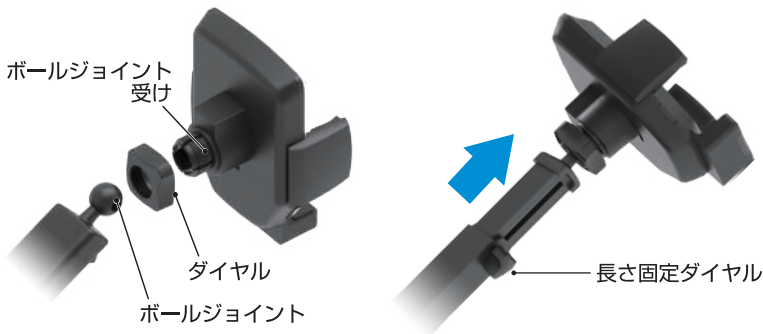
● : 高さ 1m、直径 30cm の円柱

▨ : 適応外エリア  
Aピラー及び室内後写鏡により視界が遮られるエリア

## 取付け方法

① ボールジョイントにダイヤルを差し込んでから、ボールジョイントをホルダー背面のボールジョイント受けに取り付け、ダイヤルで締め付けます。

② アームの長さ固定ダイヤルを緩めて、好みの長さに調節し、締め付けます。



③本製品の電源ケーブルの Type-C 端子を本製品に接続します。

④取付場所（お車のダッシュボード等）の汚れや油分を拭き取ります。

\* ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。

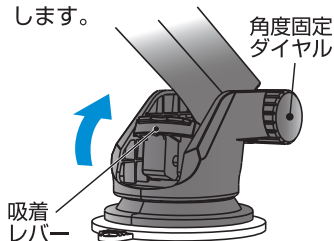
\* 本製品のホルダー部分の自動開閉の動作を妨げない場所としてください。

⑤本製品に付属の取付用プレートの保護フィルム（赤色）を剥がし、取付場所にしっかりと取付用プレートを貼り付けます。

\* 曲面への貼り付けは避けてください。

⑥本製品の角度固定ダイヤルを緩め、吸着レバーを真上まで上げます。また、吸盤面の保護フィルムを剥がします。

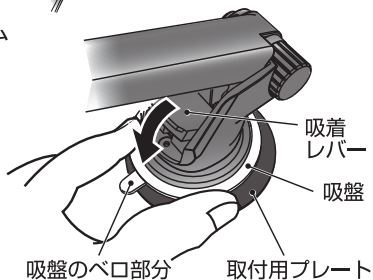
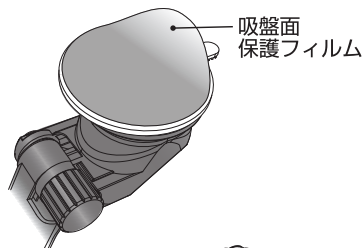
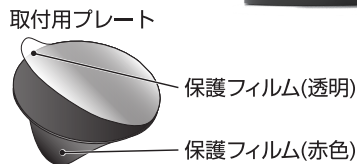
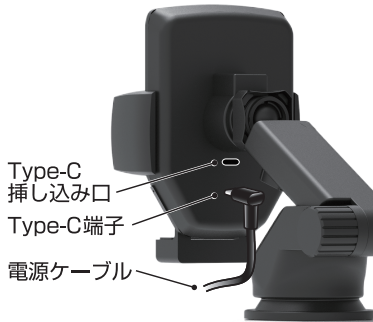
\* 吸盤面に触れないようご注意ください。吸盤面が汚れると吸着力が低下します。



⑦取付用プレートの表側の保護フィルム（透明）を剥がします。

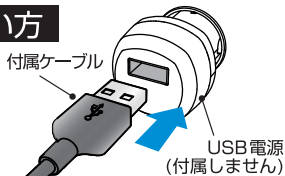
⑧吸盤を取付用プレートに強く押し付けながら、吸着レバーを下げます。

\* 取外す場合は、吸着レバーを真上まで上げ、取付用プレートを押さえながら吸盤のベロ部分を持って、吸盤をゆっくりと剥がします。



# ワイヤレス充電・自動開閉機能の使い方

- ①本製品の付属ケーブルのUSB端子をUSB電源に接続します。  
本製品が起動して、側面のインジケータが緑点灯します。



- \*本製品にUSB電源は付属しておりません。
- \*本体に接続するUSB電源は、定格5V2AまたはQuickCharge2.0以上をお使いください。5V2A未満の電源に接続すると、充電できない、または充電に時間がかかる場合があります。
- \*7.5W/10W/15W急速ワイヤレス充電にはQuickCharge2.0以上の電源が必要です。
- \*端末や充電環境によっては7.5W/10W/15W充電できない場合があります。
- \*付属ケーブルの端子はしっかり奥まで挿し込んでください。
- \*インジケータの点灯色と意味  
緑点灯：本体通電中、青点灯：ワイヤレス充電中、青緑点滅：異物検出等の保護動作時

- ②本製品の近接センサーの付近に端末(スマートフォン)をかざすと、左右アームが自動で開き、数秒後に閉じます。端末をホールドすると本製品のインジケータが青点灯し、充電を開始します。

- \*ホールド可能な幅：約62~86mm
- \*本製品の起動から数秒後に、近接センサーが反応可能となります。
- \*端末によっては、ホールド中に本製品の左右アームが端末の側面ボタンを押す場合があります。
- \*正しく充電できない場合は、補助足や端末の位置を調節してください。



端末(スマートフォン)



③補助足の高さを調節します。

- \* 本製品のインジケータが青点灯しない場合、充電位置がずれている可能性があります。その場合は、補助足の高さを再度調節してからホールドし直してください。



④取り外す場合は、側面にある開閉ボタンを押すと、左右アームが自動で開きます。

- \* 開閉ボタンは左右どちらを押しても開きます。



- \* 左右アームの開閉は、本製品へ電源供給中 (車がエンジン ON の状態) に行ってください。

- \* 本製品にキャパシタを内蔵しているため、電源供給の停止後も、1 回のアーム開閉ができます。

(回数は使用環境によって異なります。)

(電源供給を短時間で停止後は、アーム開閉できない場合があります。)

- \* 開閉ボタンには取り外す時以外は触れないでください。端末が落下する恐れがあります。

- \* 電源が入っていない時に無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

- \* 本製品と充電する端末の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。

- \* 充電しない場合やインジケータが青緑点滅(異物検出時等)した場合は、端末を本製品から一旦離し、本製品のインジケータが緑点灯後に再度充電してください。

- \* インジケータが青点灯しないか青緑点滅の場合は、お使いの端末が本製品の適合機種であることを再度ご確認ください。補助足の高さを調節してください。

- \* 端末側の充電開始または充電完了の表示に関しましては、端末の取扱説明書をご確認ください。

- \* 充電時間は端末や充電環境により異なります。

# FMトランスミッター機能の使い方

## 【ペアリング（初期設定）をする】

- ① 本製品が起動してディスプレイが青色点灯していることを確認します。
- ② 本製品のディスプレイに、下記が交互に表示されます。
  - ・ 選択中の FM 周波数（例：88.5）
  - ・ 「bt」の文字（約 3 秒毎に 1 回）
- ③ 使用する機器の Bluetooth 機能設定にて、ペアリング可能な機器を検索します。
  - \* 検索方法は機器により異なります。詳しくは機器の取扱説明書をご参照ください。
- ④ 機器の検索画面に「KW-48」と表示されますので、選択します。
- ⑤ 選択後は機器の指示に従い操作をします。
  - \* 認証のためにパスキーを要求された場合は、ゼロ 4 つ「0000」を入力します。
  - \* 接続するサービスの種類を要求された場合は「オーディオ」と「ハンズフリー」を選択します。
  - \* 「パスキー」という表記名は機器によって異なりますので詳しくは機器の取扱説明書をご参照ください。
- ⑥ 本製品の音声案内「Connected」が流れたらペアリング設定は終了です。機器の Bluetooth 設定画面でも、ペアリングが完了していることをご確認ください。
  - \* FM ラジオの周波数と本製品の FM 周波数が合っていない場合は、音声案内が聞こえません。
  - \* ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングに失敗した場合は、もう一度始めからやり直してください。
  - \* 再接続は自動で接続されますが、自動で接続されない場合は、再度設定を行ってください。



## 【機器の音声を FM ラジオで再生する】

- \* 一般的な FM ラジオを聴く時の音量より小さくなる場合があります。
- ① FM ラジオの電源を入れます。  
(カーステレオなどの電源を入れて FM ラジオを選択します。)
  - ② 本製品の左 / 右ボタンを押すと、本製品のディスプレイに表示されている選択中の FM 周波数が変化します。(76.0~90.0MHz)  
FM ラジオの周波数と、本製品の FM 周波数を合わせます。
    - \* ご使用になる地域の FM ラジオ放送局と重複しない FM 周波数をお選びください。
  - ③ 機器の音楽 / 動画 / ワンセグ TV 等を再生します。  
再生している音声は FM ラジオ (カーステレオなど) から聞こえます。
    - \* 一部の音楽アプリ等では再生できない場合があります。\* 聞こえにくい場合は、機器側または FM ラジオ側の音量を上げてください。
    - \* 走行環境、接続機器、USB 電源や車載アンテナの種類、位置等により、ノイズ / 音のひずみ / 音の途切れ / 受信不能状態等が発生する場合があります。

## 【音楽を操作する・イコライザー機能で音質を変更する】

- 本製品のボタンで、下記の操作ができます。
  - ・音楽の停止中：右ボタンを2回押す→音楽を再生
  - ・音楽の再生中：右ボタンを2回押す→音楽を停止
  - \*一部の機器 / 音楽アプリ等では操作できない場合があります。
- 本製品の左 (EQ) ボタンを2回押すと、イコライザー (音質) 選択モードになり、選択中の音質がディスプレイに点滅します。  
点滅中に左 / 右ボタンを押すと、音質が下記の順に切り替わります。  
(カッコ内の文字がディスプレイに点滅表示されます。)
  - ①フラット [FLA]    ②バスブースト [BAS]    ③クラシック [CLS]
  - ④クラブ [CLB]    ⑤エレクトロニック [ELE]    ⑥ヒップホップ [HIP]
  - ⑦ジャズ [JAZ]    ⑧ポップ [POP]    ⑨ロック [ROC]
  - ⑩ボーカルブースト [VOC](右ボタンでの順。左ボタンでは逆の順となります。)
- \*操作せずに数秒ほど経つと、選択モードを自動的に終了します。

## 【電話をする】

- ※通話音声は音楽を聴く場合の音量より小さくなります。
- ※電話をかける際は、機器 (携帯電話) を操作して発信してください。本製品に発信機能はありません。
- ※本製品の取付場所や、本製品のマイクとの距離によっては、通話相手へ音声が届きにくい場合があります。
- 電話をうける： 着信音または本製品の電子音が鳴ったら、本製品の右ボタンを1回押します。
- \*着信時、機器に設定した着信音が鳴る機器と、本製品の電子音が鳴る機器があります。
- \*着信時、FM ラジオ (カーステレオなど) のスピーカーから着信または電子音が鳴り、機器からも着信音が鳴る場合があります。
- \*音楽 / 動画 / ワンセグTV 等の再生中に着信した場合は、音声は停止した後、着信音または電子音が鳴ります。
- \*本製品の各設定モード中 (ディスプレイの点滅中) に着信した場合、機器 (携帯電話) で通話を開始してください。
- 電話をきる： 本製品の右ボタンを1回押すと、通話を終了します。
- 着信を拒否する： 着信音または本製品の電子音が鳴ったら、本製品の右ボタンを約1秒長押しします。
- 通話中に本製品と機器 (携帯電話) を切替える： 通話中に、本製品のマイクとFM ラジオ (カーステレオなど) のスピーカーを使用した通話から、機器 (携帯電話) での通話に切替える場合は、本製品の右ボタンを2回押します。

